

LOVE&PEACE サーキットランを楽しく走るために

1. 車両について

参加できる車両は125cc以上のオートバイとなります。基本的にニーグリップのできないスクータータイプの車両やミニバイクは参加来ません。

☆下記の部分にはワイヤーロックをなるべくしてください。

・ドレンボルト ・オイルエレメント ・ファイラーキャップ

ワイヤーロックは走行の振動などからネジや蓋が緩まないようにするにはとても大事です。ワイヤーロックをしないで走る場合は、ネジや蓋などの緩みを走行毎にチェックするなどしてください。コースにオイルをまいてしまうと1時間はコース清掃に時間がかかりますので、ご注意ください。

☆下記の部分は出来る限り取り外してください。

・スタンド(サイド・メイン) ・タンデムステップ ・バックミラー

・ライト・ウィンカー類 ***バックミラーはできるだけ外してください。**

割れる恐れのあるもので外さない場合は飛散防止にガムテープで覆ってください。

2. 車両の準備について

イベント参加前日に次のことは最低でも確認しておいてください。

・タイヤの確認・・・空気圧・溝など

・油脂類の確認・・・量・蓋・ネジの緩み・オイル漏れがないか

・ゼッケン・・・受理書に指定されたナンバーを前・両サイドに張ってください。

☆アンダーカウルが無くても参加は可能ですが、オイル漏れなどには十分注意してチェックをしてください。走行中にオイル漏れがあると自分ばかりでなく、他人にも危険を及ぼすばかりでなく、オイル処理などで何時間も走行をストップすることになります。

3. 装備について

レーシングスーツ(ワンピース型もしくはウエストでつながるジッパータイプ)

グローブ・ブーツ(革もしくは同等の素材)

フルフェイス型のヘルメット

☆推奨装備・・・脊椎パッド・ヘルメットリムーバー・チェストプロテクター

☆体験クラスはツナギ無しでも参加できますが、革のジャケット・革パンツ・くるぶしが隠れるブーツ手首がかくれるグローブなどを装着してください。(パッド入りを強く推奨します。)

4. 走行会に準備するといいいもの

ガムテープ、ビニールテープ(計測器の取り付け、ガラス製品の飛散防止に使用)

工具

ブレーキパッドの予備

エアゲージ

5. 当日の入場について

受理書に同封してある入場パスを見せて入場口より入ってください。パスは申込時に申請したピットクルーの人数分を送ります。紛失・忘れた場合などは有料(1500円)になりますのでご注意ください。

6. 参加受付について

受付は事務所で行います。参加受理書・保険加入用紙・免許証を持って決められた時間内にお越しください。*保険用紙の氏名ワキに捺印するのを忘れずに。

7. プリーフィングについて

場所は表彰台前パドックを予定しています。当日の流れや走行に走行の注意事項などを説明します。プリーフィング終了時に計測器を配布しますので必ず参加してください。

☆プリーフィング時はお静かにお願いします。

8. ピットについて

受理書に同封されているピット割表を参考にピットを使用してください。

9. 計測器について

計測器の付け方はプリーフィングで説明します。紛失の際は弁償となりますので取り扱いには丁寧をお願いします。(弁償代50000円)体験クラスは計測がありません。

10. 先導付き走行について

先導走行が終了したら先導車は一旦ピットインしますので参加者の方も続けてピットインしてください(その際チャッカーが振られます。)その後はそのままピットロードエンドに整列して係員の合図で再コースイン フリー走行開始となります。

*チャッカーでピットインしない人がいると戻ってくるのを待つために走行時間が短くなります。

他の参加者の為にもご注意ください。

11. 模擬レースについて

L&Pレースと同じ方式でスタート進行を行います。(3-3...整列)

① 係員の合図でピットロードを出てコースイン。1周まわって自分のグリッドにつく。

② 係員の合図でウォーミングアップ走行にスタートする。

③ 1周して再びグリッドについたらエンジンを始動させたまま待つ。

④ レッドシグナルが点灯して、そのレッドシグナルが消灯された時点でスタート。

・5分前には準備をしてコースインゲートにお集まりください。

・レース後の表彰式はありません。

12. 走行結果(リザルト)

結果表は事務所ワキのBOXに入れておきます。個人ラップもでていきますので自分のクラス・ゼッケン・名前を確認してお持ちください。

13. Pの看板

エビス独自のルールとして、「100R」進入付近に⒫の看板があります。これはピットインする際にイン側に寄る目安の場所の印です。ピットインする車両は安全と確認してこの付近より右側に寄り、安全な速度を保ちながらピットインしてください。

☆必ずこの看板で右に寄れと言っわけではないのであくまでも安全を確認してこの近辺で右に寄るようにしてください。

サーキットランではライダーの転倒時のケガを軽減するためにもヘルメットリムーバー、脊椎パッド、チェストプロテクターの装着を強く推奨いたします。